

を育む環境を創る

しな教育力の向上をめざす新宿区教育委員会



(2) 専門学校体験

新宿区は日本でも屈指の専門学校数を誇る自治体です。その特性を活かして、様々な分野の専門学校で小中学生の体験学習を行っています。専門分野の知識と本格的な施設を利用して授業を体験するだけでなく、現役の専門学校生とのふれあいによって、多様な生き方があることを学んだり、自分の将来について考えるきっかけにもなっています。

(3) オペラシティ・アートギャラリー

西新宿にそびえ立つオペラシティ・タワー内の美術館でも、教育委員会との連携事業を実施しています。展覧会と運動してアーティストの指導を受けながら、使い捨てのストローを素材にした「リサイクル・オブジェ」や、憧れの「もの」と自分を合体させる「変身シール」を作ります。一般来館者が訪れる展覧会場内でのワークショップに参加することで、自分自身が展覧会の一部となつて、普段の見ただけの立場とは逆の、見られる立場も体験します。

また、これをきっかけとして、同ビル内で、科学技術と芸術のかわりに焦点を当てるミュージアムであるNTTインターコミュニケーション・センターとの連携事業も開始しています。



PTAと子どもたちが取り組む 地域の防犯力の向上

新宿区教育委員会では、親の代表という性格を持っている社会教育団体としてのPTA研修にも力を入れています。PTAの学習の場である家庭教育学級・講座でも講師の話を聞くだけでなく参加型で、保護者全員で考えあう場になっています。

また、特別講座としていくつかの新たな手法を提示しています。その一つ「防犯環境をデザインする」では、小学生のワークショップを実施しています。小学校の高学年が、一年生のインストラクターになるという設定で、一緒に子どもたちが体験した「怖い思い」を浮かび上げらせていくという方法をとっています。親は普段見えない子どもの姿に驚きます。そして、今度は親が主体のワークショップを行い、さらには地域の大人たちもそこに参加するという広がりを持ちつつあります。子どもの視点から考えることによって、あらためてPTAや大人たちが地域を捉え直す機会になっています。



地域にある人や資源をつなげて教育力をつくる - 生涯学習振興課地域教育係の試み

今年から新宿区教育委員会生涯学習振興課内につくられた地域教育係は、こうした地域の様々な活動や人的・物的資源をつなげながら、学校・家庭・地域でトータルな教育力の向上をめざす取組をすすめています。地域教育係では「地域の教育力とは親も地域の人も子どもと一緒に学びながら関係をつくっていくこと。地域の人々が子どものために行っている様々な取組に対して場所を提供したりPRしたり、他のグループや団体、企業を紹介したりしながら、支援していきたい。小さな成功が一つずつ重なって、大人も子どもも楽しみながらつなげる力をつけていける。新しいことをゼロから始めようという地域にある人や資源をつなげていきたい。」と話しています。今後は、さらに学校との連携を密にしながら、学校教育の支援を地域の力を活かして進めていこうとしています。